

平成29年度 栃木県環境マネジメントシステム（EMS）の全体評価について

〔H30.3.28 地球温暖化対策課〕

栃木県環境管理マニュアルの規定に基づき、今年度のEMSの運用状況、内部環境監査及び外部評価の結果を踏まえ、知事による全体評価を行い、次のとおり改善指示を行うもの。

【評価の対象期間】平成29年度（平成29年4月～平成30年3月）

【EMS適用組織】全庁308所属

I. 環境管理統括者（知事）による全体評価と改善指示

1 全体評価

概ね適切。

2 改善指示

次のとおり全庁に改善を指示すること。

- (1) 各所属で適用を受ける環境法令等は、その改正状況も含めて正確に把握した上で、遵守すること。
- (2) 各所属におけるエネルギー使用量等については、その増減理由と合わせて常時把握し、適切な対応をとること。
- (3) 次年度のEMS運用に当たっては、以下に留意すること。
 - ① 所属目標の達成については、個別の具体的な取組の有効性について十分に検証することが重要であることから、具体的な数値目標を掲げ取り組むよう努めること。
 - ② EMSの継続的改善を円滑に図るため、各所属における取組の成果を職員に広く周知すること。
 - ③ 中長期的な視点に立った計画的な省エネ改修や高効率機器の導入、燃料種転換について、各所属において検討すること。
 - ④ 環境に重大な影響を及ぼす可能性のある事務事業を所管する所属においては、緊急事態への準備として、定期訓練の実施等の他、早期対応体制の整備に努めること。

なお、引き続き、職員一人ひとりが節電・省エネ及び省資源の取組を自主的に行ない、県庁の温室効果ガス排出量抑制を図るとともに、PDCAサイクルによる継続的な改善により、環境負荷の低減に努めること。

Ⅱ. 平成29年度のEMSの取組状況

1 目標の達成状況（取組状況）

(1) 所属目標

全所属において最重要課題として取り組む所属目標を掲げ、実施計画を作成して目標達成に向け取り組んでいる。

※ 多かった所属目標は、「電気使用量の削減」「用紙使用量の削減」「廃棄物排出量の削減」

(2) 実績の自己評価（中間評価）

全所属において、平成29年度上半期（4月～9月）の実績について自己評価を実施したが、平成29年度の目標としている用紙使用量が減少傾向（▲1.7%）であった他、電気使用量は微減傾向（▲0.1%）であるなど、全体を総括すると、概ね適正に行われていると評価できる。

2 環境法令等の遵守状況

各所属において適用となる環境法令（延べ51法令）等を遵守しながら事業を遂行。

3 県民等からの要望及び苦情 EMSに関するものはなし。

4 自己点検による是正措置の状況 報告事例なし。

5 内部環境監査の結果

被監査所属（154課所室）に対する監査を実施。軽微な注意事項7件（産業廃棄物保管場所等の掲示の不備等）。

6 外部評価の結果

外部評価委員会（委員3名）により全所属の書類審査及び現地調査（18所属）を実施し、評価及び改善提案を受けた。

【評価結果】全体として概ね適切である。

7 前回の改善指示への対応状況

5件全て対応済み（毒劇物取締法に基づく掲示等）。

8 新たな取組

- ・省エネルギーの視点に立った設備の改修（県有施設省エネ加速化事業・29年度は5施設）
- ・設備の運用見直しの実施（県有施設省エネチューニング事業・29年度は2施設）
- ・県庁スマートエネルギーマネジメントシステム（県庁BEMS）の導入（新上都賀、新芳賀庁舎）